

# ユーザーズ マニュアル ITL-319xBT

ワイヤレス バーコードリーダー



株式会社アイテックス

本製品は、EN55022および47、CFRパート2、FCCパート15に 準拠するクラスAコンピューティングデバイスの規制に適合することが実証され ています。これらの規制は、居住地域に設置したときの干渉や混信を適切に防止 する目的で規定されています。

本製品は、商用環境で使用することを目的としていますが、本製品をラジオやテレビの近くで使用すると受信障害を引き起こすことがあります。また、住宅環境で使用した場合も本製品をラジオやテレビの近く使用すると受信障害を引き起こすこがあります。本製品が障害を引き起こしているかは、本機をオン、オフすることで確認できます。

ユーザは、下記の手段の1つ以上により受信障害を解消するようにしてください。

- 1. 受信アンテナの向や位置を調整します。
- 2. 本製品と受信機を離します。
- 3. 本製品または受信機のコンセントを別にします。

本製品必ずマニュアルに従ってご使用ください。

本製品は、CE規格に適合しています。これらの標準に適合するためにはCEマークのあるACアダプタが使用されるべきであることに注意してください。

本製品の使用誤り、故障、その他不具合による損害、接続している機器の付帯的あるいは間接的な損害については、法令上認められる場合を除き、一切その責任を負いませんのでご了承ください。

本マニュアルをZEBEX INDUSTRIES INCの許可なく任意の手段によって、複製、 転載することを禁止します。

本マニュアルは改良のため予告なく変更することがあります。

本マニュアル中の全ての商標、固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

Copyright © 2011. by ZEBEX INDUSTRIES INC.

# 目 次

お知らせ
1. はじめに 1
2. 梱包内容2
3. 各部の名称3
4. 充電池の取り付け
5. 充電の方法       5.
6. クレードルの接続方法
7. スキャナとクレードルのペアリング8
8. スキャナのページング13
9. スキャンモード13
10. データ送信モード14
1 1. ビープ音、LEDインジケータ15
1 2. メンテナンス17
1 3. 初期設定値・・・・・・18
1 4. バーコード設定メニュー・・・・・19
システム関連・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
インターフェイス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
スキャンモード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
クレードルホストモード·······22
USBオンラインモード·······23
BT HID€-ド······23
BT SPPマスタ/スレーブモード······23
データ転送モード・・・・・・・25
無線通信プロトコルパラメーター・・・・・・・・・・・26
スリープ時間・・・・・・・・27
同一コード読み取り間隔・・・・・・・・・29
読み取り成功時ビープ音・・・・・・・30
ビープ音・・・・・・・30
文字間ディレイ・・・・・・・31
メッセージ間ディレイ・・・・・・31
RS 2 3 2 C I / F · · · · · · · 32
キーボード I / F・・・・・・・・・・・・・・・・・36 U S B I / F・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
USB1/F·······38 Codabar·····40
C o d a b a r · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Code 3 9 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
ウロ 1 2 8 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
MSI/Plessy·······46
Code1148
I T F (Interleaved2of5)49
Standard 2 of 5 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Industrial2of552
UPC/EAN/JAN·····53
Telepen
Matrix2of559
GS1DataBar60
⊐− F I D · · · · · · · · · · · · 63
ヘッダー/トレーラー・・・・・・・・65
設定用フルアスキーバーコード
設定用数字バーコード
アスキーコード表
キーボードコード表
コードID表

## 1. はじめに

ITL-319×BTは、ガンタイプの最新スキャンエンジンを搭載したバーコードスキャナです。Bluetooth無線モジュールを内蔵し、ケーブルの長さを気にする必要のない携帯性でスキャンされたデータは、リアルタイムでデータ転送され、作業効率の改善を可能にします。

海運業、貨物倉庫、スーパーストア、薬局、または大規模な製造サイトなど 多くのオープンスペースで自由に動き回れる快適さを提供します。

専用クレードル(充電&無線受信機)、Bluetoothドングル、Bluetoothワイアレステクノロジーを持つすべての機器と通信が可能です。(注1)

100mの通信範囲内でスキャンされたすべてのデータは直ちに接続されたPCに転送されます。

ITL-319xBTは、ハンドヘルドモードまたはハンズ・フリーモードのどちらでも、スキャンされたデータは、高精度で信頼できる読み取り能力を提供する信頼されたツールになるでしょう。

(注1 すべてのBluetooth製品との接続を保証しているものではありません。)

# 2. 梱包内容

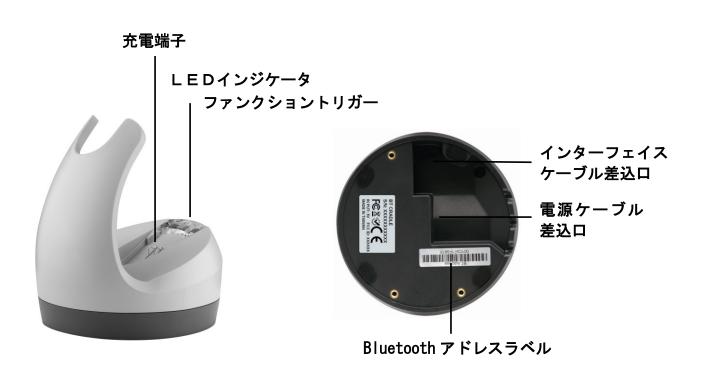
梱包箱を開けて下記内容を確認してください。 不足や輸送中の破損があったときはご購入の販売店にご連絡ください。

- 1. スキャナ本体
- 2. クレードル本体(充電&無線受信機)
- 3. A C ア ダ プ タ + ミニ U S B 電源 ケーブル
- 4. インタフェースケーブル(USB/キーボード/RS232C)
- 5. 専用充電池
- 6. 本マニュアル

# 【スキャナ本体】



# 【クレードル】





付属の充電池はITL-319xBT専用です。専用充電池以外は使用しないでください。専用充電池以外の使用は保証対象外です。

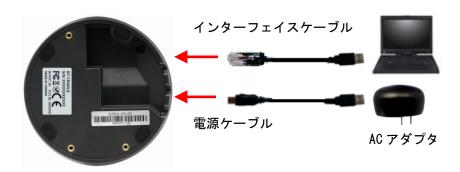
ネジを回しチャップを外します。充電池パックを挿入します。



充電池パックが奥まで挿入されている事を確認して、キャップを取り付けネジを締めます。



### 【USBセットの接続方法】



- 1. 上図を参照しUSBインターフェイスケーブルをクレードルのRJ-45コネクタに接続し("カチッ"とクリック音がするまで奥に差し込みます)、反対側をPCのUSBポートに接続します。 電源ケーブルをクレードルのミニUSBコネクタに接続し、反対側のACアダプタをコンセントに接続します。
- 2. 充電池をセットしたスキャナ本体をクレードルにセットしてくだ さい。正常にセットできた時にはショートビープ音が鳴り充電が開始 されます。



※本体を直接充電する場合 電源ケーブルをスキャナのボトム のミニ USB コネクタに接続して充 電します。充電時間は約6時間で



## 【充電について】

スキャナのLEDが緑の点滅の時は充電中を示し、緑の点灯の時はフル充電になったことを示します。(<u>11. ビープ音、LEDインジケータ</u>も参照ください。)

充電池の寿命は充電回数に依存します。スキャナをクレードルにセットする だけでいつでも自動的に充電します。

- クレードルでの充電は時間は約4.5時間です。
- フル充電になるとおよそ40時間動作します。
- 推奨される充電の温度環境は、0°C~35°Cです。

# 6. クレードルの接続方法

スキャナはクレードルとペアで動作します。スキャナはバーコードを読むと バーコードデータは、クレードルに無線通信され、クレードルは接続したイン タフェースケーブルによってホストにバーコードデータを送信します。

次のステップでクレードルとホストを接続します。

- インタフェースケーブルをクレードルのRJ45コネクタに接続してください。 「カチッ」とクリックがするまで奥に差し込みます。そして反対側のコネクタをホストと接続してください。
- 2. USBインタフェースやキーボードインタフェースの場合は、ホストが十分なパワーを持っているならば、ACアダプタなしで動作は可能です。 しかし、バッテリに充電するためにはACアダプタは必要です。

### 【注意】

ACアダプタを接続した場合は、ホスト(5V)からの電源は無視されます。

- 3. RS-232Cインタフェースでご使用の場合は、ACアダプタの接続は 必須です。ミニUSBコネクタに差し込んでください。
- 4. クレードルに電源が供給されるとLEDは赤から青色の点滅に変わります。 LEDが青色の点滅時はホストとの接続待ち状態を示します。スキャナと クレードルがペアリングしている状態ではLEDは青く点灯したままにな ります。

# 7. スキャナとクレードルのペアリング

ITL-3190BTでは4つコミュニケーションモードをサポートしま す。

- クレードルホストモード
- SPP スレーブモード
- SPP マスターモード
- HIDモード

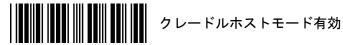
### 7-1 クレードルホストモード

クレードルとセットで動作する出荷時のモードです。箱から出してすぐに動 作するようになっていますが、長期保管や万が一ペアリングされない状態にな っている場合は下記の手順により再度ペアリングをしてください。



1) クレードルに電源が供給されるとLEDは赤から青色の点滅に変わります。 LEDが青色の点滅時はホストとの接続待ち状態を示します。







設定終了



- 2)「設定開始」→「クレードルホストモード有効」→「設定終了」の順でバーコードを読み取ります。スキャナの LED が速い青の点滅状態となります。次に、クレードル底面の「Bluetooth アドレスラベル」のバーコードを読み取ります。スキャナ本体の LED が青の速い点滅になりペアリング状態となります。ペアリングが正常に完了するとスキャナからハイ、ローのビープ音が鳴り、その後スキャナの LED が遅い青の点滅、クレードルの LED が青の点灯状態となります。
- 3) もしも、クレードルがペアリングロックモードに設定されている場合やスキャナがクレードルホストモードのペアリングに失敗した場合は、スキャナは「ピッピッピッ」とエラービープ音を鳴らしLEDは青の速い点滅状態となります。

### 【注意】

クレードルホストモードでは、常にスキャナはマスターモードでクレードルはスレーブモードです。上記のような場合には、ペアリングアンロックモードのバーコードを読んでください。

4) クレードルとスキャナの接続がリンクしている時は、クレードルのLED は青で点灯しています。クレードルとスキャナの接続が何かの理由のタイムアウトになったりパワーダウンモードになってリンクしていない時は、クレードルのLEDは青の点滅でお知らせします。スキャナのトリガボタンを 1 秒以上押すかスキャナをクレードルにセットすると自動的にリンクを再開します。

### 【注意】

初期設定ではコミュニケーションモードはクレードルホストモードです。 万が一この設定が消えたような場合には、本書により再度クレードルホストモードの設定を実施してください。

### 7-2 SPP スレーブモード

このモードでは、スキャナはシリアル-ポート-プロファイル(SPP)によ りホストとリモート接続されます。

USB-Bluetooth-ドングルやBluetooth内蔵PCなどが 必要です。またシリアルポートからデータを取り込む「Com-de-key」 などのアプリケーションも必要になります。 デバイス名は「ZBBT」、P I Nコードは「12345678」です。







設定終了



【このモードの接続についてはお問い合わせください。すべての Bluetooth 製品との接続を保証しているものではありません。】

### 7-3 SPP マスターモード

このモードも、シリアル-ポート-プロファイル(SPP)による接続ですが、 スキャナはマスタモードになります。

USB-Bluetooth-ドングルやBluetooth内蔵PCなどが 必要です。またシリアルポートからデータを取り込む「Com-de-key」 などのアプリケーションも必要になります。 12桁のBluetoothア ドレスおよびPINコードで設定します。



設定開始



SPPスキャナマスタモード



Bluetoothアドレス設定

12桁のBluetoothアドレスを設定します。

例 0011B1345600

"0" "0" "1" "1" "B" "1" "3" "4" "5" "6" "0" "0" のASCIIバーコードを読み取りアドレスを設定します。



セット



┃┃┃┃ スレーブ機器にペアリングを要求



設定終了



【このモードの接続についてはお問い合わせください。すべてのBluetooth製品との接続を保証しているものではありません。】

### 7-4 HIDE-F

このモードでは、スキャナはヒューマンインターフェイデバイス(HID)によ りホストとリモート接続されます。

USB-Bluetooth-ドングルやBluetooth内蔵PCなどが必要 です。読み取ったバーコードデータはキーボード入力と同じように入力されます 。 デバイス名は「ZBBT」、PINコードは「12345678」です。





HIDスキャナモード



スマートフォンモード



設定終了



【このモードの接続についてはお問い合わせください。すべてのBluetooth製品との接続を保証しているものではありません。】

# 【注意】

スマートフォンで接続する場合は下記の順番で読んでください。

 $[HIDX+v+t-v] \rightarrow [Xv-v+v+v]$ 

# 8. スキャナのページング

複数台以上の使用では、どのスキャナとクレードルがペアになっているのかわからなくなることがあります。そんな時はクレードルのファンクショントリガボタンを押してください。そのクレードルからペアにセットされたスキャナにページング(呼び出し)信号が送信されます。ページング信号を受信したスキャナは3回のビープ音と青のLEDを3回点灯し応答します。ペアにセットされたスキャナが通信圏内にない場合などは応答することができません。

# 9. スキャンモード

ITL-3190BTは下記の2つのスキャンモードで動作します。

### ■ ハンドヘルド モード





### ■ ハンズフリー モード





クレードルにセットしハンズフリーで自動的に読み取ります。

# 10. データ送信モード

ITL-3190BTは次の4つのデータ送信モードから1つを選択します。

### 10-1 ノーマル モード(初期値)

このモードでは、通信圏内にスキャナがあるときに読み取ったバーコードデータは、ビープ音の発生によりホストに送信されたことを知らせます。スキャナが圏外の場合は4回のハイビープ音でエラーであることを知らせます。ノーマルモードではデータはストア(一時的メモリ)されません。

### 10-2 アウトオブレンジ モード

このモードでは、圏外で読み取ったバーコードデータをストアできます。 スキャナが圏外の場合に青いLEDの遅いフラッシュで知らせます。バーコードを読み取ると圏外のため4回のハイビープ音でエラーであることを知らせますがデータはストアされます。

通信圏内にスキャナが戻ってくると接続状態になります。接続状態になるとストアされたデータは自動的に送信されます。 ストアされたデータを送信しているときは中音のビープ音で知らせます。

### 10-3 スタンダードバッチモード

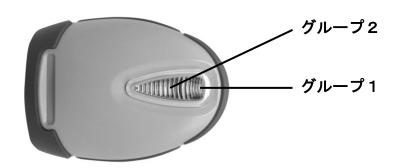
このモードでは、通信圏内でも圏外でもスキャナで読み取ったバーコードデータはすべてストアされます。ストアされたデータは「バッチデータ送信」バーコードを読み、トリガボタンを1秒以上押すことでホストに送信されます。

#### 10-4 クレードルセットバッチモード

読み取り動作はスタンダードバッチモードと同じです。このモードでは、スキャナをクレードルにセットし、トリガボタンを1秒以上押すことでストアされた読み取りバーコードデータをホストに送信します。

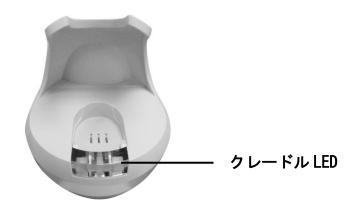
# 11. LEDインジケータ、ビープ音

### 【スキャナLEDインジケータ】



LED		ステータス
グループ2 グループ1		
	青点滅	ペアリング待機状態 (間隔 0.5s : 0.5s).
	青速い点滅	ペアリング中
	青遅い点滅	Bluetooth 正常接続状態(間隔 0.03s : 3s).
青1回点灯		バーコード読み取り完了
青速い点滅		データ転送中
	緑点滅	充電中
	緑点灯	充電完了
赤点灯		プログラミングモード
赤遅い点滅		ローバッテリー
(ビープ音)		
赤 2 回点滅		ローバッテリー(限界)
(ビープ音2回)		

# 【クレードルLEDインジケータ】



LED	ステータス
青点滅	Bluetooth 未接続状態
赤点灯	AC アダプタ未接続.
青点灯	Bluetooth 正常接続状態
赤点灯	AC アダプタ未接続
青と赤が交互に点灯	USB インターフェイスが未接続
月乙亦が又五に無力	ののはイング・フェイスが不得が
青点灯	Bluetooth 正常接続状態
青点滅	Bluetooth 未接続状態.

# 【ビープ音】

ビープ	ステータス
1回のロングビープ	スキャナ電源オン
1回のビープ	バーコード読み取り時。読み取りデータの送信またはス
	トア(メモリへのセーブ)
1回のハイ・ロー・ハイビー	クレードルのペアリング アドレスバーコード読み取
プ	Ŋ
4回のショートミディアムピ	データ通信異常または無線エリア外.
ープ	
1回のミディアムロービープ	ローバッテリ
2回のミディアムロービープ	ローバッテリ(限界)
1回のショートミデアムピー	スキャナ電源オフ
プ	
1回のロングハイとミディア	プログラミングモード開始
ムビープ	
1回のロングミディアムとミ	プログラミングモード終了
ディアムビープ	

## 12. メンテナンス

### ■ 読み取り窓

読み取り窓は常にきれいな状態でご使用ください。エアーで埃を吹き飛ばしたり、柔らかな素材で軽く拭き取るようにします。強く拭いたり硬い素材で拭き取ると読み取り窓を傷つけ読み取り能力が低下します。

アセトン、ベンゼン、エーテルなどの薬品や溶剤を読み取り窓やケースに使用してはいけません。

### ■ バッテリィ

充電池の寿命は充電回数に依存します。製品付属の専用充電池の充電回数は約500回です。

### ■ インタフェースケーブル

ホストに接続するインタフェースケーブルが破損した場合は交換が可能です。 新しいケーブルは代理店または販売店よりご購入ください。

PCの買い替えなどで接続するインタフェースを変更する場合も、新しいケーブルは代理店または販売店よりご購入ください。インタフェースを変更した場合は、本マニュアルにより新しいインタフェースに設定変更を必ず実施してください。

### 無線パラメータ

Bluetoothホストクレードルホストペアリングモードアンロックデータ送信モードノーマル無線プロトコルタイムアウト5秒パワーオフタイムアウト20分暗号化暗号化する

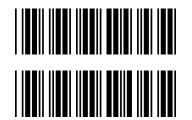
# 14. バーコード設定メニュー

通常は出荷時の設定のままで動作検証し問題がなければそのまま ご使用ください。

必要な項目のみ設定変更することを推奨いたします。



### システム関連の設定



スキャナのみ工場出荷状態に戻す

クレードルのみ工場出荷状態に戻す



**インターフェースの設定** (クレードルホストと通信状態で設定すること)

USB(HID)キーボード初期状態に戻す



RS232C初期状態に戻す

PS/2 キーボードウェッジ初期状態に戻す

USB(COM)シリアル初期状態に戻す



ファームウェアバージョンの表示

中止(アップデートせずにプログラミングモードを終了する)





### 設定開始

### スキャンモード



トリガモード



オートスキャンモード



オルタネイトモード



プレゼンテーションモード



アイドルモード有効

アイドルモード無効



### クレードルホストモード

ペアリングモード解除

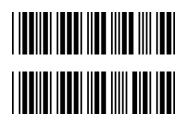
クレードルホストモード有効



ペアリングモード固定



ペアリング取り消し

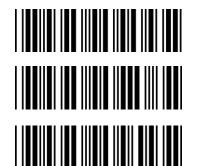


スキャナをクレードルにセット時のビープ音有効

スキャナをクレードルにセット時のビープ音無効



### USBオンラインモード



USBオンラインスキャン無効

USBオンラインスキャン有効 (無線が切断された場合USB有効)

無線通信を無視してUSBオンラインスキャン (無線が接続されていてもUSB有効)

BT(Bluetooth) HIDモード
BT HIDモード有効

BT HIDモード有効

BT HIDスマートフォンモード有効

BT SPPマスタ/スレーブモード

SPPマスタモード有効 (接続先アドレス "Bxxxxxxxxxxx" Code39 フォーマット)

SPPスレーブモード有効

Bluetooth アドレス設定 (SPPマスタ時のみ)

PINコード設定 (SPPマスタ時のみ)

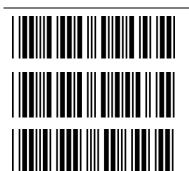
設定の保存(アドレスとPINコードの設定)

設定用フルアスキーバーコードで設定する任意の文字列を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。









ディフォルトデバイスネーム有効

デバイスネーム設定

PINコード削除



設定の保存(デバイスネームの設定) 設定用フルアスキーバーコードで設定する任意の文字列を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。



スレーブとペアを要求する(SPPマスタ時のみ)



自動探索有効



自動探索無効



暗号化有効



暗号化無効



通信プロトコルなし

通信プロトコルACK/NAK

通信プロトコルパッキング





### データ転送モード



### 標準データ転送



アウトオブレンジバッファ有効 (通信圏外でのバッファメモリ)



ビープ音を出しアウトオブレンジデータを再送信する



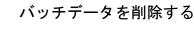
ビープ音を出さないでアウトオブレンジデータを再送信する

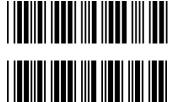


バッチモード



"バッチデータを削除する"をスキャンしてからバッチデータを消去する





バッチデータを送信後クリア



バッチデータを送信



USBケーブルが接続されたらバッチデータを送信する



クレードルに置いてトリガボタンを押すとバッチデータを送信する



ビープ音を出さないでバッチデータを送信する

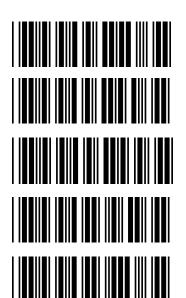


ビープ音を出しバッチデータを送信する





### 無線通信プロトコルパラメーター



無線プロトコルタイムアウト=3秒

無線プロトコルタイムアウト=5秒

無線プロトコルタイムアウト=8秒

無線プロトコルタイムアウト=10秒

無線プロトコルタイムアウト=13秒

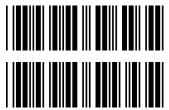
無線プロトコルタイムアウト=16秒

無線プロトコルタイムアウト=20秒





### スリープ時間



5分後スリープ



10分後スリープ



20分後スリープ



30分後スリープ



1時間後スリープ



2時間後スリープ



4時間後スリープ



6 時間後スリープ



8時間後スリープ

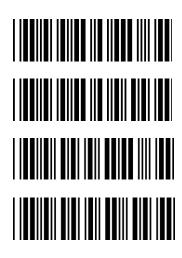






スリープなし

強制的にスリープする



リンク時ビープ音有効

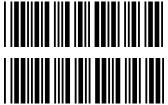
リンク時ビープ音無効

スリープから復帰時ビープ音有効

スリープから復帰時ビープ音無効



### 同一コード読み取り間隔



50msec



100msec



200msec



300msec



400msec



500msec



600msec



700msec



800msec



1000msec

無限





### 読み取り成功時ビープ音(音程)

中

高

低

無し

ビープ音(長さ)

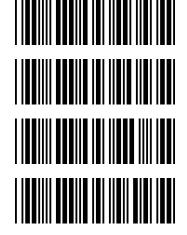
長音

標準

短音

超短音

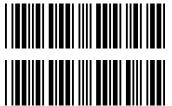
超長音







### 文字間ディレイ



0 m s



2 m s

 $5 \, \text{ms}$ 





20ms

10ms

50ms





0 m s



100ms



500ms

1000ms





### RS232C設定 通信速度



115200



19200



9600



2400

4800

1200

### RS232C設定 パリティ



Even



Odd



Mark



None





### RS232C設定 ストップビット



1ビット

2ビット

RS232C設定 データ長



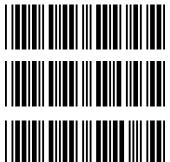
フビット

8ビット





# RS232C設定 ハンドシェイク



なし

ACK/NAK

X o n/X o f f

RTS/CTS

<BEL>キャラクタでビープ音を出す有効

<BEL>キャラクタでビープ音を出す無効

ACK/NAKレスポンスタイム300ms

ACK/NAKUスポンスタイム2sec

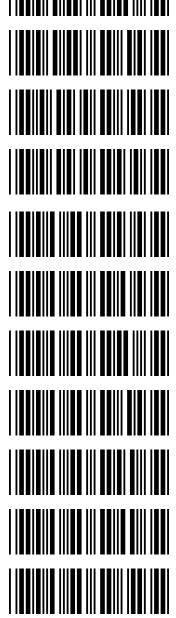
ACK/NAKレスポンスタイム500ms

ACK/NAKUスポンスタイム3sec

ACK/NAKUスポンスタイム1sec

ACK/NAKレスポンスタイム5sec

ACK/NAKレスポンスタイム無限







#### RS232C設定 終端文字

なし

CR/LF

LF

CR



ТАВ



STX/ETX

EOT





### キーボードウェッジ設定



IBM PC/AT/PS/2 キーボードエミュレーション



インターナショナルキーボードモード(ALT method)



キーボード言語 米国(USA)



キーボード言語 英国(UK)



キーボード言語 ドイツ(GERMANY)



キーボード言語 フランス (FRENCH)



キーボード言語 スペイン(SPANISH)



キーボード言語 イタリア(ITALIAN)



キーボード言語 スイス (Switzerland)



キーボード言語 ベルギー(Belgium)



キーボード言語 日本(Japanese)



キャプスロックオン

キャプスロックオフ





## キーボードウェッジ設定

ファンクションキーエミュレーション有効



ファンクションキーエミュレーション無効



数字を通常データとして送信

数字をキーパッドのデータとして送信

キーボードウェッジ設定 終端文字



なし

Enter

TAB





#### USBインターフェイス設定

インターナショナルキーボードモード(ALT method)



キーボード言語 米国(USA)



キーボード言語 ドイツ(GERMANY)



キーボード言語 フランス (FRENCH)



キーボード言語 スペイン(SPANISH)

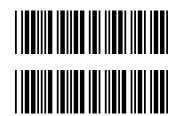


キーボード言語 日本(Japanese)



キーボード言語 イタリア(ITALIAN)

USBインターフェイス設定 終端文字



なし

Enter

TAB





#### Codabar(NW-7)パラメータ設定



有効 Codabar



Codabar 無効



Codabarスタート/ストップキャラクタ送信しない



Codabarスタート/ストップキャラクタ送信 A, B, C, D



Codabarスタート/ストップキャラクタ送信 DC1~DC4



Codabarスタート/ストップキャラクタ送信 a/t, b/n, c/\*, d/e



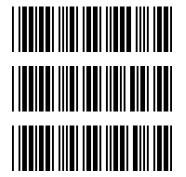
Codabar最大桁数設定



Codabar最小桁数設定



設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。



Codabarチェックキャラクタなし

モジュロ16計算 チェックキャラクタ送信しない

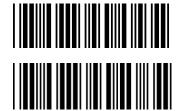
モジュロ16計算 チェックキャラクタ送信する





### Codabar(NW-7)パラメータ設定





照合回数 0回

照合回数 1回

照合回数 2回

照合回数 3回





#### Code39パラメータ設定

Code39有効

 Code39無効

Code32有効



Code32無効



照合回数 0回



照合回数 1回



照合回数 2回



照合回数 3回



スタンダードCode39



フルASCIICode39



スタート/ストップキャラクタ送信する

スタート/ストップキャラクタ送信しない





#### Code39パラメータ設定

チェックデジットチェック チェックキャラクタ送信する



チェックデジットチェック チェックキャラクタ送信しない



チェックデジットチェックなし



Code39最大桁数設定



Code39最小桁数設定



設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。



Code39(Italian pharmacy) "A"キャラクタを送信する

Code 3 9 (Italian pharmacy) "A" キャラクタを送信しない





#### Code93パラメータ設定

Code93有効

Code93無効



照合回数 00



照合回数 1 回



照合回数 2回



照合回数 3 回



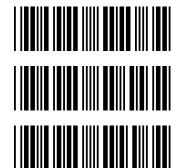
Code93最大桁数設定



Code93最小桁数設定



設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。



チェックデジットチェック チェックキャラクタ送信しない

チェックデジットチェックせず チェックキャラクタ送信し ない

チェックデジットチェック チェックキャラクタ送信する





## Code 128パラメータ設定



Code 128有効



Code 128無効



EAN128有効



EAN128無効



照合回数 0回



照合回数 1 回



照合回数 2 回



照合回数 3回



チェックキャラクタチェックしない



チェックキャラクタチェック チェックキャラクタ送信しな 1)



チェックキャラクタチェック チェックキャラクタ送信する



Code128最大桁数設定



Code128最小桁数設定

(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設 定する任意の数字を読み取 り、「設定の保存」を読み取 り設定します。

設定を保存する





# 中国郵便コードパラメータ設定

中国郵便コード有効

中国郵便コード無効

照合回数 O回

照合回数 1回



照合回数 2回



照合回数 3回



中国郵便コード最大桁数設定



中国郵便コード最小桁数設定



SET

設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。





#### MSI/Plessyパラメータ設定

MSI有効

MSI無効

照合回数 0回



照合回数 1回



照合回数 2回



照合回数 3回



MSI最大桁数設定



MSI最大桁数設定



設定を保存する(最大/最小桁数の設定)

設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。



MSI/Plessy ダブルチェックデジットをチェックするがキャラクタは送らない



MSI/Plessy ダブルチェックデジットをチェックしないキャラクタは送らない



MSI/Plessy ダブルチェックデジットをチェックする最初のキャラクタのみ送る



MSI/Plessy ダブルチェックデジットをチェックする両方のキャラクタを送る









MSI/Plessy シングルチェックデジットをチェックするがキャラクタは送らない

MSI/Plessy シングルチェックデジットをチェックするキャラクタ送る





#### Code11パラメータ設定



Code 1 1 有効



Code 11無効



Code11最大桁数設定



Code11最小桁数設定



設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。



1チェックデジットチェック



2チェックデジットチェック



コード長が 10 文字より長い場合、2 チェックデジットチェック



チェックデジットチェックしない



チェックキャラクタ送信する



チェックキャラクタ送信しない





#### ITF(Interleaved 2 of 5)パラメータ設定

ITF有効

ITF無効

IATAコード有効

IATAコード無効

照合回数 0回

照合回数 1 回

照合回数 2回

照合回数 3回

チェックキャラクタチェックしない

チェックキャラクタチェックするキャラクタ送信する

チェックキャラクタチェックするキャラクタ送信しない





#### ITF(Interleaved 2 of 5)パラメータ設定



ITF最大桁数設定



ITF最小桁数設定



ITF固定桁数設定1



ITF固定桁数設定2



設定を保存する(桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。



ITF桁可変長





#### Standard 2 of 5 パラメータ設定



Standard 2of5 有効



Standard 2of5 無効

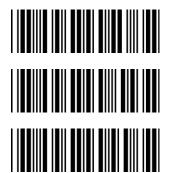


Standard 2of5 最大桁数設定



Standard 2of5 最小桁数設定

設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。



チェックキャラクタチェックしない

チェックデジットチェックするキャラクタ送信する

チェックデジットチェックするキャラクタ送信しない





#### Industrial 2 of 5 パラメータ設定



Industrial 2of5 有効



Industrial 2of5 無効



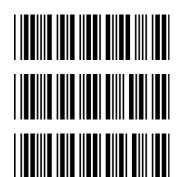
Industrial 2of5 最大桁数設定



Industrial 2of5 最小桁数設定



設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。



チェックキャラクタチェックしない

チェックデジットチェックするキャラクタ送信する

チェックデジットチェックするキャラクタ送信しない



EAN を ISSN/ISBN に変換 有効

EAN を ISSN/ISBN に変換 無効

UPC/EAN/JAN 有効



UPC/EAN/JAN 無効



UPC/EAN/JAN オール有効



EAN-8 と EAN-13 有効



UPC-A と EAN-13 有効



UPC-A と UPC-E 有効



UPC-A 有効



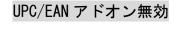
UPC-E 有効



EAN-13 有効



EAN-8 有効







アドオン5のみ

 アドオン2のみ



アドオン2または5



UPC-E を UPC-A フォーマットに変換する



UPC-E を UPC-A フォーマットに変換しない



UPC-A を EAN-13 フォーマットに変換する



UPC-A を EAN-13 フォーマットに変換しない



EAN-8 を EAN-13 フォーマットに変換する



EAN-8 を EAN-13 フォーマットに変換しない



UPC-A チェックデジットを送る



UPC-A チェックデジットを送らない



UPC-E リーディングキャラクタを送る

UPC-E リーディングキャラクタを送らない







UPC-E チェックデジットを送る



UPC-E チェックデジットを送らない



EAN-8 チェックデジットを送る



EAN-8 チェックデジットを送らない



EAN-13 チェックデジットを送る



EAN-13 チェックデジットを送らない



UPC-A リーディングキャラクタを送る



UPC-A リーディングキャラクタを送らない



アドオンをセパレータで分ける (スペースで分ける)



アドオンをセパレータで分けない



EAN-13 カントリーコード先頭の"O"を送る



EAN-13 カントリーコード先頭の "0" を送らない

EAN-13 最初の "0" ID コードを UPC-A と同じにする





 EAN-13 最初の "0" ID コードを EAN-13 と同じにする

UPC-A 照合回数 0回

UPC-A 照合回数 1回

UPC-A 照合回数 2回

UPC-A 照合回数 3回

UPC-E 照合回数 0回

UPC-E 照合回数 1回

UPC-E 照合回数 2回

UPC-E 照合回数 3回

EAN-13 照合回数 0回

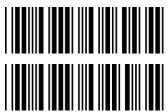
EAN-13 照合回数 1 回

EAN-13 照合回数 2回

EAN-13 照合回数 3回







EAN-8 照合回数 O回



EAN-8 照合回数 1回



EAN-8 照合回数 2回



EAN-8 照合回数 3回



EAN/UPC+アドオン(必須でない)



EAN/UPC+アドオン(必須)



EAN/UPC+アドオン 978/977 ブックランド 読み取り有効 (他のアドオン読み取り不可)



EAN/UPC+アドオン 978/977 ブックランド 読み取り有効 (他のアドオン読み取り可)



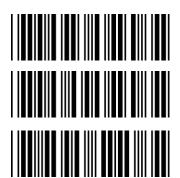
EAN/UPC+アドオン 491 新雑誌コード 読み取り有効 (他のアドオン読み取り不可)

EAN/UPC+アドオン 491 新雑誌コード 読み取り有効 (他のアドオン読み取り可)





# Telepen パラメータ設定



Telepen 有効

Telepen 無効

Telepen ニューメリックモード有効

AIM Telepen 有効





#### Matrix 2 of 5 パラメータ設定



Matrix 2of5 有効



Matrix 2of5 無効



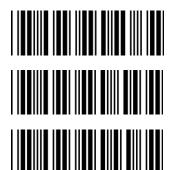
Matrix 2of5 最大桁数設定



Matrix 2of5 最小桁数設定



設定を保存する(最大/最小桁数の設定) 設定用数字バーコードで設定する任意の数字を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。



チェックキャラクタチェックしない

チェックデジットチェックするチェックキャラクタ送信する

チェックデジットチェックするチェックキャラクタ送信しな LI

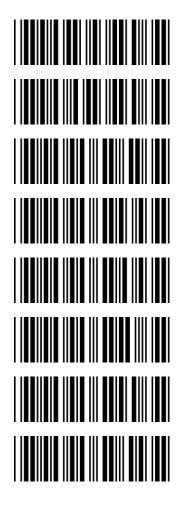




#### GS1 DataBar Omnidirectional(RSS-14) パラメータ設定

GS1 DataBar Omnidirectional (RSS-14) グループ

- GS1 DataBar Omnidirectional
- GS1 DataBar Truncated
- GS1 DataBar Stacked
- GS1 DataBar Stacked Omnidirectional
- GS1 DataBar Omnidirectional 有効
- GS1 DataBar Omnidirectional 無効
- GS1 DataBar Omnidirectional チェックデジット送信する
- GS1 DataBar Omnidirectional チェックデジット送信しない
- GS1 DataBar Omnidirectional アプリケーション ID(01)送信する
- GS1 DataBar Omnidirectional アプリケーション ID(01)送信しない
- GS1 DataBar Omnidirectional EAN-128 エミュレーション有効
- GS1 DataBar Omnidirectional EAN-128 エミュレーション無効

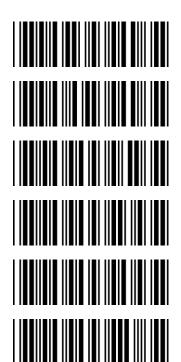






#### GS1 DataBar Limited(RSS Limited) パラメータ設定

GS1 DataBar Limited(RSS Limited)グループ・GS1 DataBar Limited



GS1 DataBar Limited 有効

GS1 DataBar Limited 無効

GS1 DataBar Limited チェックデジット送信する

GS1 DataBar Limited チェックデジット送信しない

GS1 DataBar Limited アプリケーション ID(01)送信する

GS1 DataBar Limited アプリケーション ID(01)送信しない

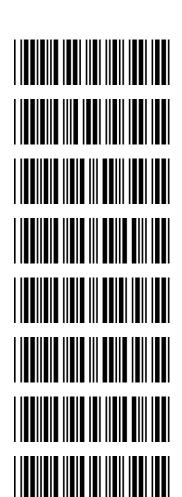




## GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded) パラメータ設定

GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded) グループ

- GS1 DataBar Expanded
- GS1 DataBar Expanded Stacked



GS1 DataBar Expanded 有効

GS1 DataBar Expanded 無効

GS1 DataBar Expanded EAN-128 エミュレーション有効

GS1 DataBar Expanded EAN-128 エミュレーション無効

GS1 DataBar Expanded チェックデジット送信する

GS1 DataBar Expanded チェックデジット送信しない

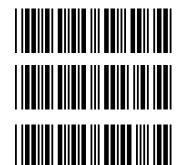
GS1 DataBar Expanded アプリケーション ID(01)送信する

GS1 DataBar Expanded アプリケーション ID(01)送信しない





#### コードID設定



コードID無効

標準コードID有効

AIMコードID有効



Code39 コード I D文字設定



ITF 2of5 コードID文字設定



中国郵便コードコードID文字設定



UPC-E コードID文字設定



UPC-A コードID文字設定



EAN-13 コードID文字設定



EAN-8 コードID文字設定



Codabar (NW-7) コードID文字設定



設定を保存する(コードIDの設定)

設定用フルアスキーバーコードで設定する任意の 1 ~ 2 文字を読み取り「設定の保存」を読み取り設定します。





#### コード I D設定

Code128 コード I D文字設定

Code93 コードID文字設定



MSI コードID文字設定



GS1 DataBar Omnidirectional コードID文字設定



GS1 DataBar Limited コードID文字設定



GS1 DataBar Expanded コードID文字設定



Industrial 2of5 コードID文字設定



Code11 コードID文字設定



Standard 2of5 コードID文字設定



Matrix 2of5 コード I D文字設定

設定を保存する(コード I Dの設定)

設定用フルアスキーバーコードで設定する任意の1~2文字を読み取り「設定の保存」を読み取り設定します。





## ヘッダー/トレーラー設定



読み取りデータ桁数 有効 (2桁表示)

読み取りデータ桁数 無効



ヘッダー(プリアンブル)設定



トレーラー(ポストアンブル)設定



設定を保存する(ヘッダー/トレーラーの設定)

設定用フルアスキーバーコードで設定する任意の1~10文字を読み取り「設定の保存」を読み取り設定します。



前方データ削除桁数設定



後方データ削除桁数設定



設定を保存する(削除桁数の設定)

設定用数字バーコードで設定する任意の数字2桁を読み取り 「設定の保存」を読み取り設定します。

『設定の保存』

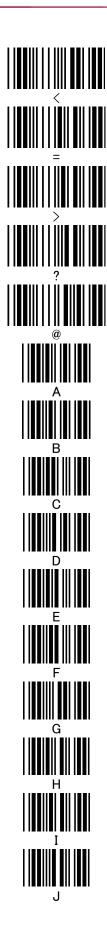






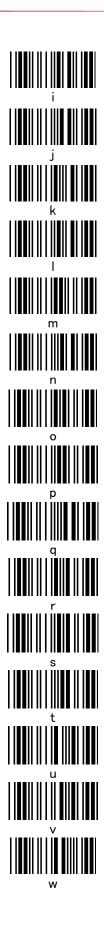
















# 設定用 数字バーコード







SET (設定を保存)



ENTER (Bluetooth HIDモード PINコード確定時に使用)

アスキー(ASCII)コード表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	Р	`	р
1	SOH	DC1	!	1	Α	Q	а	q
2	STX	DC2	"	2	В	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	С	S	С	S
4	EOT	DC4	\$	4	D	Т	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	е	u
6	ACK	SYN	&	6	F	٧	f	٧
7	BEL	ETB	,	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	Н	Х	h	х
9	HT	EM	)	9	I	Υ	i	у
Α	LF	SUB	*	:	J	Z	j	Z
В	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
С	FF	FS	,	<	L	¥	I	
D	CR	GS	ı	=	М	]	m	}
Е	SO	RS		>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	0	-	0	DEL

キーボードコード表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0		テンキー 5	SP	0	@	Р	`	р
1	Insert	F1	!	1	Α	Q	а	q
2	Delete	F2	"	2	В	R	b	r
3	Home	F3	#	3	С	S	С	S
4	End	F4	\$	4	D	Т	d	t
5	1	F5	%	5	E	U	е	u
6	$\downarrow$	F6	&	6	F	٧	f	٧
7	↓	F7	,	7	G	W	g	W
8	Back Space	F8	(	8	Н	Х	h	х
9	HT/Tab	F9	)	9	I	Υ	i	у
Α	テンキー Enter	F10	*	:	J	Z	j	Z
В	$\rightarrow$	F11	+	;	K	[	k	{
С	Page Up	F12	,	<	L	¥	I	
D	Enter	ESC	-	=	М	]	m	}
Е	Page Down	CTRL(L)		>	N	^	n	~
F	Shift	ALT(R)	/	?	0	-	0	DEL

ファンクションエミュレーションを有効に設定した場合、網掛け部分のファンクションキーが送信されます。インターフェイス設定が USB キーボード、キーボードインターフェイス設定時に使用可能です。

バーコードシンボル	標準コードID				
Code 39	M				
ITF 2 of 5	I				
Chinese post code	Н				
UPC-E	E				
UPC-A	Α				
EAN-13	F				
EAN-8	FF				
Codabar (NW-7)	N				
Code 128	K				
Code 93	L				
MSI	Р				
GS1 DataBar Omnidirectional	RS				
GS1 DataBar Limited	RL				
GS1 DataBar Expanded	RX				
Industrial 2 of 5	D				
Code11	0				
Standard 2 of 5	S				
Matrix 2 of 5					



〒111-0041 東京都台東区元浅草1-6-13 元浅草MNビル6F tel 03-5246-9420 fax 03-5246-9421 www.j-itecs.co.jp